

Pichari ~ピチャリ~

七飯町歴史館だより
第1号

七飯町歴史館は今年、多くの皆様のご支援のお陰で、10年目を迎えることとなります。そしてこの度、広報誌「ピチャリ」を創刊する運びとなりました。タイトルにありますピチャリという言葉は、「種をまく」を意味しています。この誌面上で、七飯町の歴史や自然に関する話や、収蔵資料の紹介、事業報告、調査研究の速報など、様々な話題の種をまきながら、七飯という豊かな土壌に様々な可能性が芽生え、育ってほしいと願い名づけました。何分始めたばかりでございますので、誤字・脱字などいろいろ不備があるかとは思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。



ななえ古写真物語

VOL. 1

~遊覧船の乗場~
絵葉書「大沼拾六景」より

大沼公園は、現在も七飯町の観光名所で、多くの観光客で賑わう場所です。上の写真は、明治時代終わりから昭和初期に撮影された写真を絵葉書にしたものと考えられ、「北海道唯一の湖沼名所 大沼拾六景」というタイトルで、当時のお土産店などで販売されていたものと思われる。

歴史館では、こうした昔の絵葉書に写っている人の服装や当時の建物などの様子が、とても貴重な資料であると考え、収集・保管に努めております。

この写真の場所は、今の大沼公園広場前あたりと推測されます。岸に集まっている人の中に「遊船」とか「見晴」と背に描かれた半纏をまとっている人も伺えます。また、右手奥に見える橋は、大島橋（現在の西大島橋）で、中央部分が一段高い構造になっているのは、その下を船が通りやすくするためといわれています。まだ、今のようにはモーターボートがない時代でしたから、当時は、手こぎの屋形船や帆船（ヨット）が主流で、ゆったりと湖上に船を浮かべ、優雅に大沼や駒ヶ岳の景観を楽しんだのでしょう。忙しい現在の観光では、想像できないスタイルかもしれませんが、この写真を見ていると、建造物は自然と一体となるように配慮され、人はその中で風流な時を過ごしていたように感じます。

大沼公園の歴史を見てみますと、大沼は、明治36年に函館～小樽間の鉄道が通るようになってから急速に発展し、それにともない、紅葉館・見晴館・五月館など多くの旅館が建設されました。

今ではなくてはならない大沼名物「大沼だんご」も明治38年にお土産として売られ、現在に至っています。明治後半から発展した大沼は、特異な容姿を示す駒ヶ岳の美しさもあいまって、すぐに日本全国へその名が知れ渡るようになりました。

また、今から50年前の昭和33（1958）年には、これまで道庁立の公園だった大沼が国定公園に昇格しました。当時の七飯町の人々は大いに喜んだでしょうし、その後、発行された記念切手の販売時には、行列が出来たといわれます。

今年は、**国定公園昇格から50年の節目にもあたり**ます。この50年もの間に、残念ながら大沼の水質が徐々に悪化してしまいました。この美しい大沼をどのように後世に残していくのかは、現在の私たちに課せられた問題でもあります。

七飯町歴史館では、大沼公園や駒ヶ岳など、七飯町に関係する古写真や絵葉書などを探しています。使用されたものでもかまいませんので、お持ちの方は、ぜひ歴史館までご連絡ください。

このコーナーでは、歴史館でおこなった事業などを紹介します。

12月5日（水）から、当館の町民講座「夜の博物館」がスタートしました。この講座は、日中仕事をされている方にも学ぶ場所を・・・と考え開催しているもので、今年度の後期講座は「七飯楽～ナナエガク～」と題して町の歴史や文化財に係る内容で、4回実施します。この日の講座は「七飯の史跡」、当館学芸員のスライドなどを使った説明を熱心に聴いておりました。参加者の皆様、夜遅くまでお疲れ様でした。



スライドを熱心に見る受講者の皆さん

12月22日（土）には、町内小学校5・6年生を対象にした体験学習事業、「ジュニア探検クラブ」でソバうち・餅つきを行いました。

春から、ソバ植え・収穫・石臼体験など、ソバづくりに関連する経験をつんだ児童たちでしたが、最後の締めは、やっぱり手打ちソバをうつこと。初めての挑戦になる児童が多い中、歴史館友の会の方のご協力によって、なんとか自分たちでソバをうって、切り、そして、ゆでて食べました。大人顔負けの手さばきでしたがそのお味は・・・少しかたかったかな？

午後からは餅つきをしました。まず学芸員から、餅つきにまつわる話を聴き、さっそく臼と杵をつかって餅つき開始！杵の重さに戸惑う児童が多い中、上手にあいどりをうつ児童も誕生しました。



ソバをのしています



うまい？



最強の餅つきコンビの誕生か？

12月23日（日）には、「ふぁみりーでいみゅーじあむ」を行いました。この事業は小学校低学年の親子を対象として、博物館で年中行事や自然を楽しむことを目的に、年間6回ほどのプログラムを実施しています。

この日は、「もちつき！ぺったん！」と題して、餅つきとあんこもちづくりに挑戦しました。まずは臼と杵をつかった餅つきです。児童には少し杵が重いので、友の会の方々が、少しお手伝いをしながらつきました。なれてくると、ぺったん、ぺったん、といい音を立てるようになりました。その後、ついたお餅をつかって「まゆだまかざり」をつくり、あんこもちづくりに挑戦です。つきたてのやわらかいお餅をつかってあんこを包み、最後にはみんなで、餅つきに関する絵本の読み聞かせを聴きながら、試食しました。

いまでは、餅つきをする家庭が少なくなっていますが、年の瀬に家族みんなでにぎやかに過ごす時間も大事なのではないかな・・・。と思ってしまう一日でした。



餅つき名人の手ほどき



親子仲良く




あんこもちづくり



もちを使ってまゆだまかざり。

2月の予定

1	金
2	土
3	日 
4	月
5	火
6	水 夜の博物館
7	木
8	金
9	土
10	日
11	月
12	火
13	水
14	木
15	金
16	土
17	日 ふぁみりーでいみゅーじあむ
18	月
19	火
20	水 初歩のアイヌ刺繍講座（よろず研究会）
21	木
22	金
23	土 ジュニア探検クラブ
24	日
25	月
26	火
27	水
28	木
29	金

2月の休館日はありません。

バードテーブルを設置しました！

歴史館のロビーから見える位置に、11月末からバードテーブルを設置しました。朝方や昼にヤマガラやゴジュウカラなどの小鳥が集まっています。館内から、双眼鏡などで観察できますので、どうぞ気軽にお越し下さい。（S）



編集後記 ~tawagoto~

なんとなく、新年だから新しいことに取り組もうかと考え、勢いで「だより」なるものを作ってみた。

本当の理由は、当館が開館して10年目になることもあるんだけど、今まで何で作らなかったという突っ込みはなしで（本当なら、もっと早い段階でだすべきだったと反省してますので）お願いします。前向きに継続することが大事！と自分自身に言い聞かせながらも、すでに、次のネタに悩んでいます。

まあ、少しでも楽しく読んでもらえれば、苦労も報われるかな・・・。（やまだひさし）

Richard

～ピチャリ～

第1号

平成20年1月20日 発行

七飯町歴史館

〒041-1193 亀田郡七飯町本町568-6

電話 0138-66-2181

FAX 0138-66-2182